

## 地域おこし協力隊通信 (No. 55) あの懐かしい建物が生まれ変わりました

「YOKANA (よかな)」では、何か新しい事にチャレンジしたいと思った時に相談をすることができます。例えば、種子島の農産物で加工品を作りたい。種子島でスポーツ大会がしたい。母親がつながるコミュニティをつくりたい…など、営利か非営利かを問いません。皆さんが「やってみよう」と思うことを、「よかな」と共感しながらお手伝いします。他にも、機能としてレンタルキッチン、コワーキングスペース、ゲストハウスなどがあり、活動の幅を広げる拠点となります。

改修した空き家は、かつて航空センターが入っていた建物。築60年となり劣化が目



こんにちは。地域おこし協力隊の湯目由華です。8月8日に、かねてより地域活性化を目的にリノベーションしていた旭町商店街の空き家が、「チャレンジ拠点YOKANA (よかな)」としてオープンしました。名前の由来は、種子島弁で「いいね!」を意味する「よかな!」です。

立ち、いよいよ解体する寸前にまで至りました。そんな時に私たち地域おこし協力隊が、「地域住民のチャレンジする拠点を再生しよう」と発起し、町民の方・高校生たちと協力してDIYで創り上げた場所です。

オープンに至るまで、多くの町民の方々のご声援とお力をいただきましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。これから先、少しでも多くの人を持つ「チャレンジのタネ」が芽吹くような支援を続け、誰もが生きがいを持って中種子町で過ごせるような場所にしたいです。

最後に、現在、中種子町には数多くの空き家・空き店舗があるものの、様々な理由でそのままにされています。この「YOKANA (よかな)」をきっかけに、このような遊休施設が活用され、種子島で胸高鳴る活動が増えれば嬉しいです。何かにチャレンジしたい、空き家をどう使うか悩んでいる。そんな方はぜひ、お気軽に「YOKANA (よかな)」に遊びに来てください。

### ■チャレンジ拠点YOKANA



営業時間 午前9時～午後6時(定休:水・木)  
— 湯目由華 (ゆのめゆか) —  
中種子町地域おこし協力隊。岩手県出身。誰かの「やってみよう」を

一緒に考え、実現するまで奮闘する人。

### コロナ収束願い鶴

#### J A 種子屋久女性部

7月30日に、JA種子屋久女性部が来庁し、コロナ収束祈願の折り鶴を寄贈しました。

「コロナの収束と、皆さんが健康でありますように」と願いが込められた折り鶴は、町民保健課の窓口には飾られています。



## 第54回中種子町民体育祭および第46回町内駅伝競走大会 開催中止

第54回中種子町民体育祭(10月10日)および第46回町内駅伝競走大会(11月14日)は、新型コロナウイルス感染防止の観点から健康・安全面を最優先に考え、中止することとなりました。町民の皆様のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。